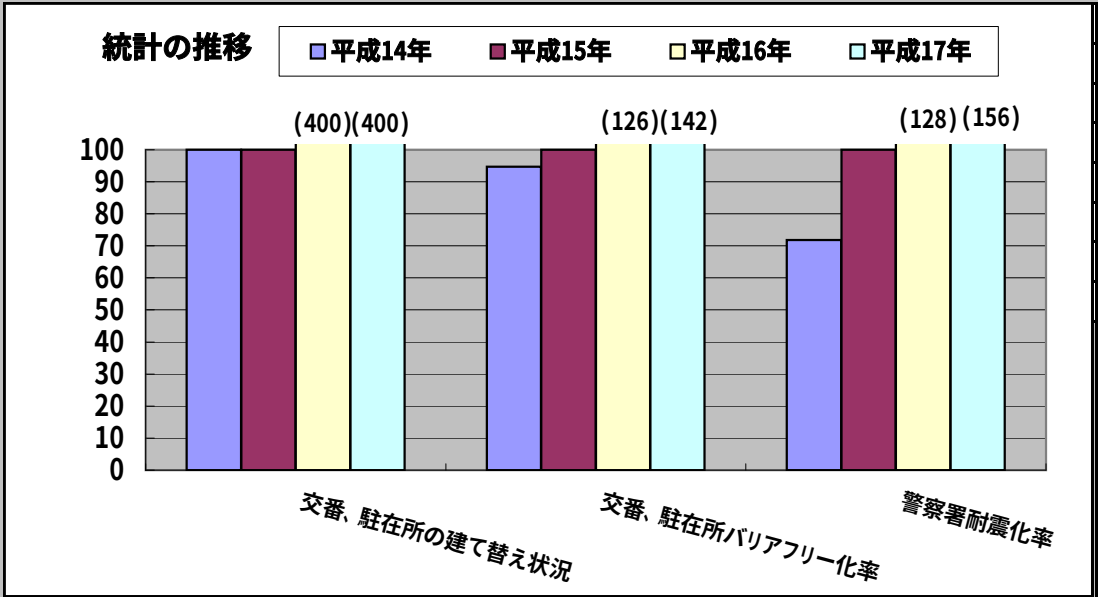


【所属】	会計課	【コード№】	51
------	-----	--------	----

業務名	警察施設の整備
-----	---------

○業務に関する統計

項 目	統 計 の 推 移				
交番、駐在所の建て替え状況	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	単位
	2	2	8	8	戸
交番、駐在所バリアフリー化率	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	単位
	18	19	24	27	%
警察署耐震化率	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	単位
	28	39	50	61	%
	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	単位



<グラフは、平成15年を100とする指数で表した。>

○業務の主なコスト

№	事 業 名	平成17年度事業費（千円）	平成18年度事業費（千円）
1	警察官増員対策事業費	10,500	10,500
2	施設運営費	490,657	490,517
3	警察本部庁舎維持管理費	126,014	123,214
4	警察官駐在所等整備費	126,829	96,738
5	庁舎等施設整備費	96,210	104,120
6	警察署庁舎整備費	269,814	2,602,163
7	犯罪多発地区における治安拠点・パトロール等強化事業費	148,680	175,647
合 計		1,268,704	3,602,899

○平成17年の取組み

●老朽、狭隘化している交番、駐在所を県民が利用しやすく、かつ、真に地域の「生活安全センター」としての機能が発揮できる施設とするため、バリアフリー化や相談室の設置を重点として、伊賀警察署丸の内交番、津警察署曾根駐在所、津南警察署香良洲駐在所、大台警察署錦駐在所、伊勢警察署蚊野駐在所、尾鷲警察署船津駐在所を建て替えたほか、松阪警察署旧嬉野町内の5駐在所を統廃合して嬉野交番を新設し、さらに伊勢警察署伊勢市内の1交番、2駐在所を統廃合して宇治交番を新設した。

●東海、東南海、南海地震の発生が危惧されているため、警察署が防災活動拠点としての機能を十分発揮できるよう、平成17年度は、大台警察署、紀宝警察署の耐震補強工事を実施した。

○課題と平成18年の取組み

●警察官の大量退職と定員の増員に伴う大量採用に対応するため、老朽、狭隘化の著しい警察学校の生徒寮、厚生棟を3ヶ年計画で建て替える。平18年は、県有施設の道場を解体し、生徒寮、厚生棟の建設を計画している。

●北勢地区の治安・防災の活動拠点である四日市南警察署の建替工事（3箇年計画）が最終年度を迎え、平成18年末に新庁舎が完成する予定である。

●南勢地区の治安・防災の活動拠点である松阪警察署の建替が容認され、建て替え工事に向けた用地購入、設計業務に着手する。

●交番・駐在所を地域の「生活安全センター」として十分に機能させ、県民の安全・安心のよりどころとなる施設とするため、バリアフリー化や相談室の設置に配慮しつつ、犯罪多発地区を重点に、5交番2駐在所の建て替えを計画している。

●亀山警察署の耐震補強工事を行い、災害発生時における防災活動拠点としての機能充実を図る。